

- ▶ 1 QCD：生産管理の3要素とよばれ、製品を製造する際に管理すべき重要な要素のことである。Q（品質・クオリティー）C（原価・コスト）D（納期・デリバリー）を意味する。
- ▶ 2 5M：生産の基本的な要素であり、M（人・マン）、M（機械・マシン）、M（材料・マテリアル）、M（方法・メソッド）、M（資金・マネー）を管理することで利益を生み出す。
- ▶ 3 PDCA：業務を改善するために、P（計画・プラン）D（実施・ドゥー）C（確認・チェック）A（処置・アクション）を繰り返し、目標に近づけるための管理活動である。
- ▶ 4 生産管理：需要に合った製品を、良質、安価、適時に生産するための組織的な努力のことである。
- ▶ 5 生産計画：資材の準備、製造、組立など生産に必要なことを納期に間に合うよう計画すること。手順計画、日程計画、在庫計画、工数計画、材料計画などがある。
- ▶ 6 生産統制：生産計画のとおり生産が進んでいるか、確認したり対策すること。進捗管理、余力管理、現品管理などがある。
- ▶ 7 平準化：作業負荷を平均化するために、部品の量や種類などの流れ方を調整すること。
- ▶ 8 仕掛品：製造途中の部品や製品のことであり、コスト低減のためには少なくした方がよいとされている。
- ▶ 9 ISO9001：品質を高めるため、製品製造のさまざまな要素を管理するための規格である。
- ▶ 10 労働安全衛生法：労働災害防止のための法律であり、労働者の安全と健康を確保し快適な職場環境形成を目的としており、業務に必要な資格は免許・技能講習・特別教育で取得することを義務付けている。
- ▶ 11 5S：整理・整頓・清掃・清潔・躰において頭のSを五つとったものである。これにより、コストダウンや生産性向上の効果などが期待できる。
- ▶ 12 ISO14001：環境負荷低減のため、製品製造のさまざまな要素を管理するための規格である。
- ▶ 13 TPM：生産システム全体を対象とした設備・保全で、システム停止などによるロスを未然防止するために全員が参加し生産システム効率化を高めていくもの。
- ▶ 14 ジャスト・イン・タイム：必要なものを必要なときに必要なだけ生産するという生産管理手法である。近年では、物流や小売店などにも取り入れられている。
- ▶ 15 自動化：製造途中に問題が発生したら機械を止め不良品を作らないことでコストを低減させるもの。